

# 平成26年度 決算報告

## 新たなにぎわいの創出と やすらぎの一層の増進

平成二十六年年度決算についてお知らせします。一般会計の歳入は六十億二千四百七十九万円で、予算現額に対して九十九・五％の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、五十七億六千九百十万円となり、予算現額に対して九十五・三％の執行率でした。今月号では昨年度の歳入と歳出の執行状況をお知らせします。また、あわせて財政健全化法に基づく健全化判断比率と資金不足比率の算定結果についてご報告します。

### 歳入

歳入総額は、前年度比四億八千六百万円の大幅な増収となりました。これは法人町民税が大きく増加したことに加え、個人町民税や固定資産税についても増加し、町税が全体で三億二千九百万円の増加となったことが主な理由です。

平成二十年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税ですので、下水道の整備費に充当しました。使途については次ページに掲載しています。

### 歳出

歳出総額は、前年度比四億八千万円の増加となりました。昨年度は、南海トラフ巨大地震を想定した防災対策や、空港周辺地区を中心とした新たなにぎわいの創出に繋がる事業を積極的に実施しました。

目的別歳出では総務費で二億六千九百万円の増加（対前年度比プラス二十九・〇％）、農林水産業費で三千七百万円の減少（対前年度比マイナス三二・一％）でした。

県営名古屋空港を利用した町民や町

商工会会員を対象に航空運賃を助成

・農業施設の更新（6614万円）

農地の有効利用や農業の活性化を図るため、用排水路やゲートの維持工事を実施

・航空館boonの施設整備（992万円）

展示施設・設備を良好な状態に維持するため、展示物や施設の補修を実施

**目標3** 安全・安心で  
住みやすさを実感できるまち

・防犯に関する施設の整備（178万円）

犯罪を抑止するため町内の小中学校周辺に防犯カメラを設置

・消防用設備の更新（706万円）

町内に設置してある消火器格納箱とホース格納箱の交換や、消防資機材の整備

・地震ハザードマップの更新（475万円）

最大規模の地震が発生した場合を想定した地震ハザードマップの更新

・業務継続計画の策定（210万円）

大規模災害発生時に優先度の高い業務をスムーズに実施するため、業務継続計画を策定

昨年度は第四次総合計画について、

前期計画の進捗状況を十分に把握し、分析した上で後期基本計画を策定しました。町では、まちづくりの将来像としている「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」をより高い次元で実現することを目指して各施策に取り組んでいます。

第四次総合計画のまちづくり目標別に実施した主な事業は次のとおりです。

**目標1** 快適で活気あふれる  
コンパクトなまち

・大山川堤防道路の整備（2113万円）

大山川右岸堤防道路（神明公園側）に歩道を設置するための用地購入

・道路改良工事の実施（3952万円）

豊山グラウンド西側町道の整備工事など、道路環境の整備を実施

**目標2** にぎわいを生み出す  
個性豊かなまち

・名古屋空港の利用促進（680万円）